



イマジン
ロータリー

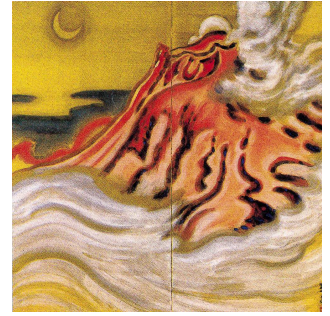
2022～2023 年度
国際ロータリーのテーマ

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週木曜日 12:30～13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 3 階
◆会 長 / 加藤 輝男 ◆副 会 長 / 朝倉 俊次
◆幹 事 / 鴨下 直哉 ◆広報・情報委員長 / 望月 完

NO. 1569 令和5年5月18日



◆点鐘	加藤 輝男 会長
◆SAA	前田 博志 委員
◆ソング	奉仕の理想
◆ゲスト	堀越 翔 様 軽井沢学園を応援する会 事務局

【会長挨拶】加藤 輝男 会長 (代読 黒澤 明男 直前々会長)

皆様ご苦労様です。

今日、私は望月で告別式があり、例会に出席する事が出来ず、申し訳ありません。

先週の土曜日、小諸ライオンズクラブ結成 55 周年記念式典・祝賀会に招待を受け出席させて頂きました。日本料理音羽さんで参加者 120 名位の方々が来賓され盛大に行われました。国会議員の井出庸生さん、羽田次郎さん、神津たけしさんはじめ遠方からは富山県滑川市長・姉妹都市である滑川ライオンズクラブ会長と多数参加されました。宴会に入るまえにはアトラクションとして小諸大浅間火煙太鼓の披露があり、大迫力で大変見ごたえがありました。この様な式典は私は初めてでロータリークラブの会員として良い勉強をさせて頂きました。

それでは第 10 回として池上彰さんの本物の教養行動経済学「なぜ人間は道理に合わない行動をとるのか」と言うテーマで今日はお話をしたいと思います。ヒューリスティック「直感で意思決定をするプロセス」とともに行動経済学を理解するうえで重要なものにプロスペクト理論があります。1 万円の利益を得た時の喜びよりも同額の 1 万円を損した時のダメージの方が大きいのはなぜか？

ギャンブルで負けが込んでくると勝算はほとんどないにも関わらずなぜか一発逆転の大勝負に出る人が増えるのはどうしてなのか？医師から「手術の成功率は 95%です」と言われると「失敗率は 5%です」と言われるよりも、ホット胸をなでおろすのはなぜか？こうした私達にありがちな道理に合わない思いや行動のメカニズムを解明してくれるのがプロスペクト理論なのです。

もう少し噛み砕いて言えばプロスペクト理論とはリスクのある不確実な状況のもとで私達がどのように意思決定するのかを理論化したものです。

この理論を提唱した心理学者のダニエルカーネマンは 2002 年にノーベル経済学賞を受賞致しました。現在、このプロスペクト理論は先に紹介したヒューリスティックと同様に行動経済学の代表的な理論として位置づ

けられています。

感想として人間の心の心理として面白い事が起きているのかなと感じました。

【幹事報告】黒澤 明男 直前々会長

- 上沢広光ガバナーより会員増強セミナー開催について
日時 6 月 10 日(土)13:00～16:20
開催方法 オンラインセミナー
出席対象者 次期クラブ会員増強委員長
 - 上沢広光ガバナーより第 30 回インターアクト地区大会について
日時 6 月 25 日(日)9:30～16:00
場所 松本第一高等学校
 - 折井正明ガバナーエレクトより次年度地区職業奉仕委員会開催について
日時 7 月 8 日(土)会議 15:00～ 懇親会 18:00～
場所 会議 松本商工会館 301 会議室
懇親会 ホテルニューステーション
会費 6,500 円
 - 東信第一グループ大工原巧ガバナー補佐より第 3 回会長・幹事会及び新旧引継会
日時 6 月 8 日(木)17:00～
会場 佐久グランドホテル
会費 5,000 円
 - 東信第一グループ大工原巧ガバナー補佐より東信第一グループ親睦ゴルフ大会礼状
 - 例会変更

上田 RC	5 月 29 日(月)	定刻受付なし
	6 月 26 日(月)	定刻受付なし
小諸 RC	6 月 7 日(水)	定刻受付なし
	6 月 28 日(水)	定刻受付なし
上田西 RC	5 月 18 日(木)	定刻受付なし
	5 月 25 日(木)	定刻受付なし
	5 月 25 日(木)	定刻受付なし
	6 月 8 日(木)	定刻受付なし
	6 月 22 日(木)	定刻受付なし
- ・来週 5 月 24 日(水)合同夜間例会・ゴルフ
例会 小諸グランドキャッスルホテル 18:00～
ゴルフ 小諸高原ゴルフクラブ

・5月25日(木)振替休会

【本日の配布物】

週報 1568号、ガバナー月信 5月号、ロータリーの友 5月号、理事会報告、2023～2024年度委員会構成表

◆出席報告 青松 英和 委員長

会員数 22名	出席義務者 22名	免除者 0名
本日	出席 14名	
	事前 MU 3名	63. 64%
前々回(4/20)	MU 0名	71. 43%

◆ラッキー賞

NO. 1 堀越 翔 様

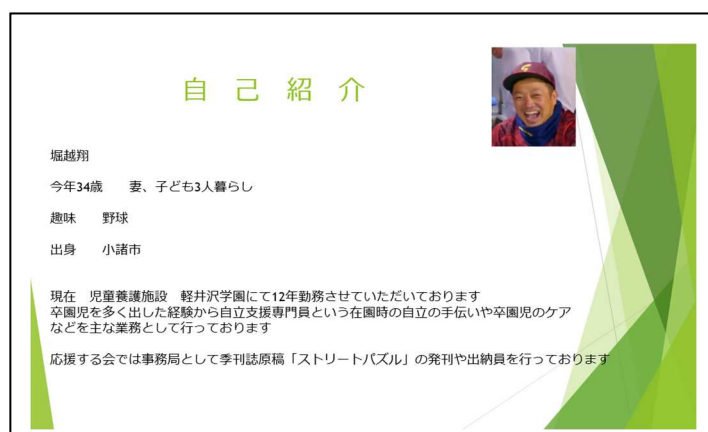
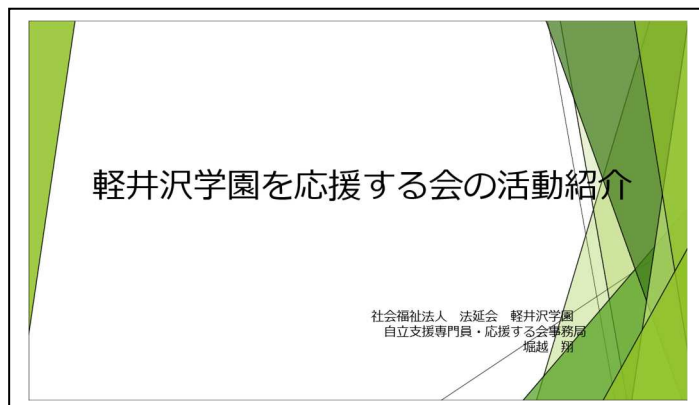
◆ニコボックス 青松英和 委員

黒澤 明男君	加藤会長、欠席の為会長代理を努めさせて頂きました。
橋詰 希望君	軽井沢学園、堀越翔様講演ありがとうございます。応援します。
望月 完君	堀越さんようこそお出でになりました。阪神タイガースの調子がとても良く毎日を楽しく過ごさせてもらっています。優勝出来れば最高です。
前田 博志君	軽井沢学園様今日はよろしくお願います。

倉本 浩行君	18年前お一人就職して頂いた縁があります。今日はよろしくお願います。
依田 常広君	入会をご承諾頂き、誠にありがとうございました。まだまだ若輩者ですので、ご指導の程よろしくお願申し上げます。
田中 陽介君	ビールのおいしい季節となりました。あまり飲みすぎないようにしましょうね。
青松 英和君	依田さん入会おめでとうございます。

【本日のプログラム】「軽井沢学園を応援する会の活動紹介」

軽井沢学園を応援する会事務局 堀越 翔 様





軽井沢学園を応援する会とは

2010年に佐久市の有志で設立した団体であり、元々は「カザンオールスターズ」というアマチュアバンドの皆様がイベントや寄付金などで集めた資金で軽井沢学園児童を食事に招待するという活動が発端です。

同年に「軽井沢学園を応援する会」として発足し現在に至ります。
主な活動は年2回の季刊誌の発行と学園児童の支援の下支えや職員のバックアップです。
最近では協賛企業様のお力添えなどで就職の開拓や就労体験などの協力を得ています。また、卒園生への「ふるさと便」などで物資の支援なども行っております。
今後は卒園児のセーフティネットとしての役割を目指しています。

※カザンオールスターズは後に
おやじバンド長野県チャンピオンになっています。



児童の支援の下支えとは



在園児への主な支援内容

- ・自動車運転免許の補助
- ・小・中・高校生の部活動、地域教室に係る費用
(グローブやスパイク、習字セットやジャージ、遠征費等)
- ・お年玉、クリスマスプレゼントの一部補助
- ・習字、水泳教室等の月謝
- ・就職支度金、生活準備金の支出
- ・新入学、卒園祝い品
- ・就労体験による社会経験
- ・謝恩会や慰労会、チームの卒団式等の費用負担(児童・職員分)



卒園児への支援

- ・成人式の着物レンタル、着付け、ヘアメイク、小物費用
- ・成人式のスーツ購入
- ・卒園児の学園への帰省費用の負担
- ・運転免許の一部補助(卒園5年以内)
- ・生活困窮時の一時金の支出
- ・ふるさと便による物品支援
- ・職員、支援者との面会時の食事代費用
- ・生活困窮時の貸付金(無利子、無担保、上限有り)
- ・職員、支援者との面会時の生活用品購入費用



ふるさと便の一部



今年の協賛企業様での就労体験

- ・桃農園
- ・米農家
- ・苺農園
- ・高所作業車体験
- ・トラック乗車体験
- ・電気工の配線分別作業
- ・飲食店
- ・ホテル業



昨年度は3人就職が決まりました✩

応援する会は現在広告で34社、支援としては合計47社程の皆様を支えていただいております

就職までの流れ

軽井沢学園では、昨年度応援する会の協賛企業での就労体験から発達障がい、精神障がいの診断を受けている在園児童と卒園児童の就職が決まりました。

就労体験の子ども達の様子

子ども達は新しい体験をするたびに「目を輝かせて僕、私は将来これやってみたい。」と言っております。
特に農業体験などは最近の児童にはない経験なので、とても大切なことだと実感します。
また、人との関わりが苦手な児童や内向的な子どもも同学年や新しい体験をすることで子ども間で仲良くなり気持ちも前面に出ている印象を受けました。



昨年度立ち上げた野球チーム

応援する会での活動は他にもあり、居場所づくりの一貫で、卒園児と新人職員の関係性を作る場として「笑顔で集える場所」をコンセプトに卒園児や在園児、職員でつくる軽学野球チームを発足させました。

これにより疎遠になってしまった児童にも声をかけ、集まれる場を提供できるようになりました。

(発足詳細はストリートパズル34号に掲載。)

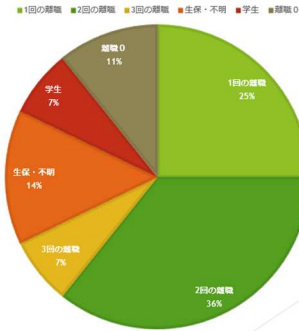


チーム発足のねらい



- ・新人職員と卒園児との繋がりを作り「今」の思い出をつくること
そして、帰ってこれる家づくり
- ・在園・卒園児・職員の頑張っている姿を在園児に見せられる
- ・試合後の打ち上げや、キャッチボールなどをしながら近況を把握できる
- ・野球ができない子も応援や遊びに顔を出してくれる
- ・このような活動があることで「一人でない」というメッセージを出す

ここ10年程の卒園児童と離職率



軽井沢学園を応援する会の活動は卒園児の増加とともに大きく広がっています。金銭的な面もそうかもしれませんが、住居や就労先などが必要です。そして、それには皆様の理解やご協力が必要です

今日お伝えしたいのは応援する会の活動内容と子ども達の頑張りや努力を知ってもらい、一緒に支えてもらえたら嬉しいと思っています

子どもに問題があるから入所するものではありません

娘さん、息子さん、お孫さんが親と離れていることなど想像できるでしょうか

2・3歳から親元を離れて、おかあさんに「会いたい」「寂しい」と泣きながら眠り、皆で支え合いながら暮らし、親子レクや参観日、父の日、母の日、複雑な思いを抱え思春期には怒りを爆発させやり場のない怒りを込め職員や友達に当たり、そんな日々を乗り越え彼ら、彼女らは卒園していきます。

この令和の時代にもそんな場所があるんです。ちょっと目を凝らした先に戦っている子がいます
親ガチャ？彼らにはそんな概念もないかも知れませんが、だからこそ、生まれた地域がよかった軽井沢学園でよかったと卒園児たちに思ってもらえる地域のネットワークを私はつくりたいと思っています

ご清聴ありがとうございました



次週のプログラム : 5月24日 「合同夜間例会・ゴルフ」

次々週のプログラム : 5月25日 振替休会

: 6月 1日 クラブ協議会「次年度委員会計画」(夜間例会)